

活動結果報告書

令和7年 7月18日

越前市議会

議長 大久保 健一 殿

議員氏名 砂田 竜一

下記のとおり報告します。

日 程 令和7年 5月30日(金曜日)～ 5月31日(土曜日)

活動先 東京方面（国会、衆議院議員会館、福井県アンテナショップ、そなエリア東京、ほか）

活動目的 ・国会の視察（本会議、代議士会 傍聴）
・福井県プロモーションの確認 ・防災体験学習館の視察

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

F-TOP21南越・鯖丹支部合同2025国会視察研修への参加

（F-TOP21とは：連合福井 総合政策フォーラム21）

1）国会視察

・国会議員との意見交換

衆議院議員会館において、衆議院議員 辻英之氏と波多野翼氏と参加者で意見交換を行った。議員就任後の活動状況や、国会での審議状況、今後の課題などについて意見交換を行った。

・立憲民主党代議士会

国会開催前に立憲民主党の代議士会の傍聴を行った。議運の結果報告、提出議案（年金制度改正法の改正案）について全員一致の確認、年金制度改正について国民への説明資料の配布、などの協議内容の傍聴を行った。政党の代議士会という普段見ることが難しい貴重な会を見学し貴重な体験が出来た。

・通常国会 衆院本会議を視察

年金制度改正法の改正案についての協議状況を傍聴した。国会ならではの慣例の議事進行や各党からの意見発言を確認し貴重な体験となった。

2) 福井県アンテナショップ視察

・東京銀座の福井県アンテナショップ「ふくい食の國 291」を視察。販売や来客の状況を確認した。複数人の来客があり、福井県を感じることが出来る品ぞろえで、福井県のプロモーションに繋がるショップとなっていた。

3) 豊洲市場見学

・豊洲市場を見学し、観光拠点の立地状況を確認した。飲食店がメインとなっており、条件がそろえば「食」による観光客誘致に大きな期待が望めることを確認できた。

4) 「そなエリア東京」視察

・東京都江東区有明にある基幹的広域防災拠点「東京臨海広域防災公園」に立地する「そなエリア東京」にて、防災体験学習（無料）を体験した。同施設は、国土交通省・東京都建設局が運営しており、有事の際にはこの施設に対策本部が設置される。防災体験では首都直下型大地震を想定した震災後の状況を体験することが出来る。実際にや体験し、・当事者となってどう備えるかどう対応するかの学習できる場である ・防災の大切さを周知する施設となっている 事が確認でき、防災推進についてよい経験となった。

2025 年 5 月 23 日

<事務連絡>

参加者各位

F-TOP21 南越・鯖丹支部合同 2025 国会視察研修について

日頃よりお世話になっております。

さて、5 月 30 日～31 日の日程で予定しております F-TOP21 南越支部・鯖丹支部合同による国会視察につきまして、下記のとおり詳細をご連絡いたします。

記

日 程 2025 年 5 月 30 日（金）～31 日（土）

行き先 東京方面（国会、衆議院議員会館、福井県アンテナショップ、そなエリア東京、ほか）

参加者 19 名（南越支部 16 名うち議員 3 名、鯖丹支部 3 名うち議員 1 名）

*参加者名簿【別紙参照】

参加費 35,000 円／名（※一単組から多数参加の場合は実費負担をお願いする）

行 程 5 月 30 日（金）

行き／北陸新幹線 6:23 越前たけふ発（6:31 福井発）＝9:32 東京着

国会議事堂前駅へ 10:00 衆議院会館（辻、波多野議員事務所訪問）見学・意見交換

11:30 国会議事堂見学 12:40 代議士会見学 13:00 本会議傍聴

13:30 衆議院本館・議員食堂にて昼食 14:20 記念撮影 14:50 銀座駅へ

15:20 福井県アンテナショップ視察 15:50 神田川クルーズ＝17:30 東陽町へ

18:00 ホテル着／ルートイン Grand 東京東陽町チェックイン

5 月 31 日（土）

8:50 チェックアウト 9:00 市場前駅前へ 9:30 豊洲市場見学～豊洲「千客万来」（昼食）

13:00 有明駅へ 13:20～「そなエリア東京」（東京直下 72h 体験ツアー） 15:30 東京駅へ

帰り／北陸新幹線 16:24 東京発＝19:19 福井着（19:42 発）＝19:50 越前たけふ着

連絡事項 1) 参加費は出発までに指定口座に振込んでいただくか、地協までご持参下さい。

2) 北陸新幹線の行き帰り切符は事前に配布しますのでお忘れなく。

3) 東京都内での移動は公共交通機関を利用しますので、Suica や ICOCA などの交通系 IC カードをお持ちください。

4) 服装はクールビズで結構ですが、上着はあった方が良いでしょう。（特に初日は）

5) 万一、参加できないような事態になりましても、宿泊費をはじめ予約したものはキャンセルが難しく、参加費はお返しできませんのでご理解ください。

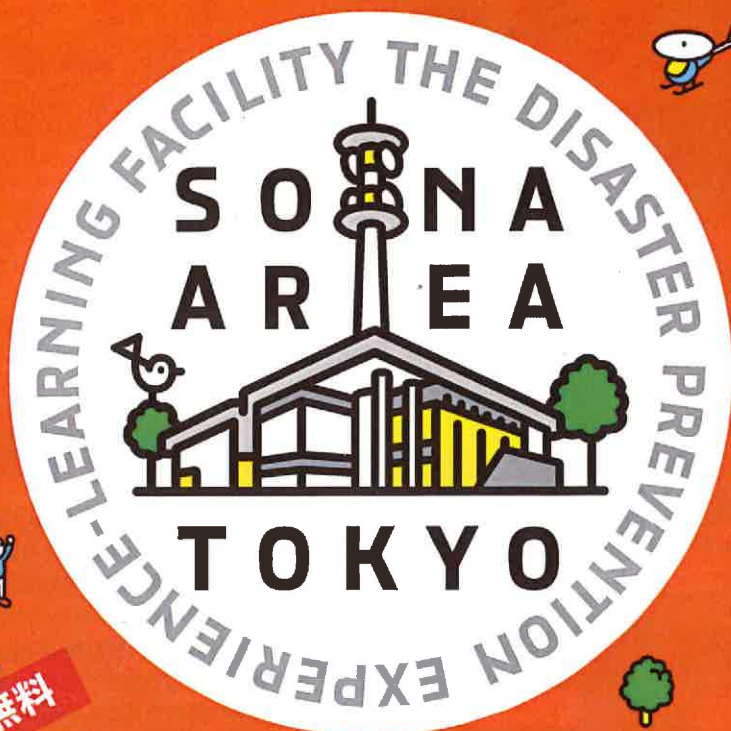
以上

※なお、ご不明な点がありましたらご連絡ください。

F-TOP21 南越支部事務局 丹南地協 TEL：0778-22-4505 FAX：0778-22-4624

東京臨海広域防災公園

The Tokyo Rinkai Disaster Prevention Park



入場無料

そなエリア東京

防災体験学習施設

1F 防災体験ゾーン



津波避難体験コーナー
津波について正しい知識を
身につけよう

2F 防災学習ゾーン



きほんのそなえ

みんなに覚えてもらいたい
そなえのエリア。地震時の
状況やタイミングに合わせて
そなえがあります。

一人ひとりのそなえ

その人だからこそそなえてもらいたい
そなえのエリア。人それぞれの特徴や
暮らしに合わせたそなえがあります。
自分や大切な人のために必要なそなえ
を図って持ち帰ろう。

その他にも、以下の見学場所があります。

首都直下地震特設コーナー / 事例に学ぶ自助の知恵コーナー / オペレーションルーム見学室 / グッズ展示



東京直下72h 地震発生後 72 時間の生存力をつける、体験学習ツアー

タブレット端末を使って「防災クイズ」に挑戦、「AR 体験」で危険箇所を確認
音響・照明・映像により余震が繰り返されるジオラマの中を、タブレット端末を使ったクイズ
で注意事項を確認しながら避難場所へ移動します。街の映画館では首都直下地震の再現 CG 映
像を上映しています。

防災学習ゾーンでは、首都直下地震をわかりやすく紹介する首都直下地震特設コーナー、
PG コーナー、自助体験コーナーなど様々な学習プログラムをご利用いただけます。

映像ホール メッセージ映像館

大型プロジェクターによる映像ホール。
2014 年にデジタルビジュアルで放送されたア
ニメ「東京マグニチュード8.0」を、この展
覧館に再現した「東京マグニチュード8.0
～東京直下72h～」を上映いたします。

東京マグニチュード8.0

東京直下72h TOUR



tokyo-m8.com

★ 防災体験学習施設「そなエリア東京」

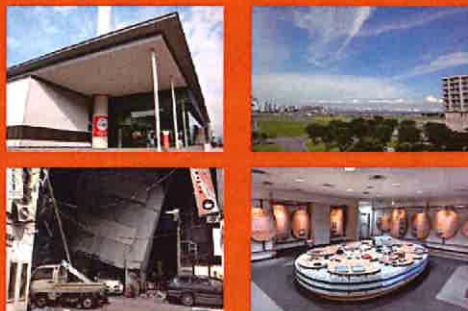
そなえる+エリアの造語。「ここでの体験と学習を通じて、「災害をイメージする力」と「対応力」を身につけることで、災害への備えにつながる場所」を意味しています。



そなエリア東京

防災体験学習施設

東京直下
72h
TOUR



もしここで大地震がおきたら...

国や自治体などの支援体制が十分に整うまでは、自力で生き残らなければなりません。その目安は3日間、72時間といわれています。

72時間、どう生き残るか?

「東京直下72h TOUR」は、マグニチュード7.3、最大震度7の首都直下地震の発災から避難までを体験し、タブレット端末を使ったクイズに答えながら生き抜く知恵を学ぶ防災体験学習ツアーです。

「東京直下72h TOUR」に参加してスタンプを押そう!

東京臨海広域防災公園

The Tokyo Rinkai Disaster Prevention Park



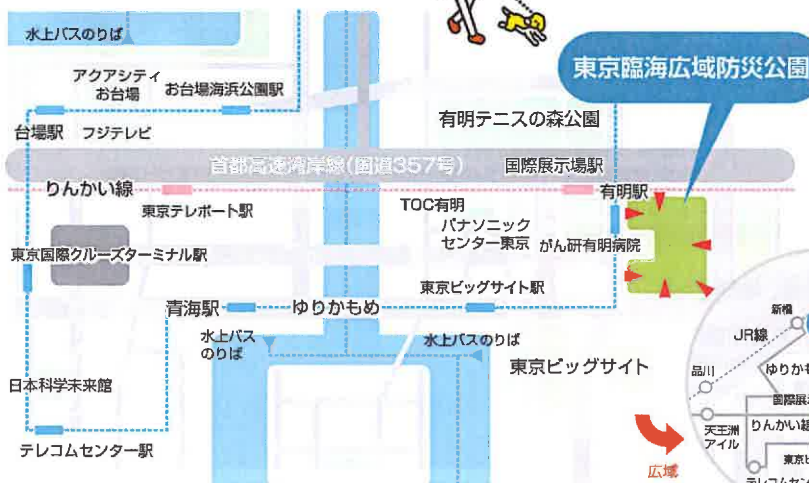
東京臨海広域防災公園は、首都圏で大規模な地震災害等が発生したとき、国や地方公共団体等の緊急災害現地対策本部が設置され、公園全体が広域的な指令機能を受け持つ場所となります。

※大規模災害が起きたときには上記のような機能となるため、避難場所としてはご利用になれません。

平常時には、花と緑があふれる国営公園 (6.7ha) と都立公園 (6.5ha) が融合した広大なスペースで、軽い運動やピクニックを楽しむなど、休憩・休息の場として広くお客様に使って頂ける公園です。公園外周には緑陰となる樹木や花木が植えられており、海風に当たりながら、季節感を感じることのできる、心地よい空間です。広大な芝生広場や舗装された広場では、防災訓練や様々なイベントが実施され、防災を身近に感じながら楽しく学ぶことができます。



交通アクセス



ご利用案内

【東京臨海広域防災公園】

- 開園時間 午前6時～午後8時 (12/31～1/1 休園)
- 入園料 無料

【そなエリア東京】～防災体験学習施設～

- 利用時間 午前9時30分～午後5時 (入場は午後4時30分まで)
- 休館日 月曜日 (月曜日が祝日の場合は開館し、翌日休館) ※年末年始及び臨時休館日があります
- 入場料 無料



【ご利用に関するお問合せ】

東京臨海広域防災公園 管理センター
〒135-0063 東京都江東区有明3丁目8番35号
TEL: 03-3529-2180 FAX: 03-3529-2188

最寄駅

りんかい線 → 「国際展示場駅」より徒歩約4分
ゆりかもめ → 「有明駅」より徒歩約2分
※当施設に駐車場はございません

活動結果報告書

令和8年3月25日

越前市議会

議長 大久保健一 殿

議員氏名 砂田 竜一

下記のとおり報告します。

日 程 令和7年10月27日(月曜日) ～ 10月28日(火曜日)

活動先 ① 長野県長野市役所
長野市鶴賀緑町1613

② NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター
長野県泰阜村6342番地2

活動目的 ① 人口減少社会を見据えた公共施設の再編調査
② 「暮らしの学校いだらぼっち」「山賊キャンプ」など、
人と自然が混じりあう暮らしの中で、人として大切な「ねっこ」を育
む体験型教育や、
自然の中での暮らしは「楽」 じゃないけれど、自分たちで作るからこ
そ最高に「楽しい」 キャンプの調査

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 （不足のときは、補助用紙を用いる。）

① 長野市 人口減少社会を見据えた公共施設の再編

長野市の人口は約360,000人。越前市の4倍から5倍の規模。
長野市の公共施設の総面積は164.3万平方メートル。前年比比べて450平方メートル減
少している。長野市では、公共施設の再配置を進めるために、令和7年度現在までの公
共施設マネジメント推進課を局に格上げし、公民連携推進局として業務に当たっている。
公民連携推進局は、2つの課で構成し、部長相当職の局長を置く。局の職員数は、9人。
長野市の公共施設は、学校教育施設が全体の36%、市営住宅等が全体の14%等で、建物
の約半分は学校と市営住宅。

建物は 40 年以上経過した施設の割合が 36%。高度成長時代に整備した建物が一斉に改築更新を迎える。そんな時期です。またオリンピック開催時に建てられた施設も改修が必要な時期を迎えている。

長野市では、今の施設を将来にわたり維持していくために財源を確保し続ける事は、極めて困難。公共施設の量と質について、全身的総合的な視点による見直しを図り、最適に維持管理していく方針、公共施設マネジメントが必要と判断している。

このために次の 4 つの基本方針を立て推進している。

- 1、施設総量の縮減と適正配置の実現
- 2、計画的な保全による長寿無料化の推進
- 3、効果的、効率的な管理運営と資産活用、
- 4、全長期的な公共施設マネジメントの推進

ポイントは、次のことと感じた。推進にあたり、施設の複合化や機能化を進めている。集約化を進めている。例えば児童生徒の減少に対応し、既存の中学校校舎への集約化だ。小学校と中学校とを一体的な活用を進めている。

もう一つは長寿命化。これまでの目標使用年度数を 60 年から 80 年に延長し、改修を進めている。

本市においても、少子化の中、望ましい学校運営のためには、小学校の地区を超えた再編と中学校を含めた小中一体の教育環境の検討が必要と感じた。

② NPO法人グリーンウッド自然体験教育センター

長野県泰阜村は人口 1500 人の小さな村。長野県の南に位置し、飯田市の隣の村。コンビニもなく、信号機もなく、国道も通らず、大型バスも入れない。産業といっても耕作可能な農地は少なく、限界集落どころか、消滅の危機にある自治体ともみられる泰阜村。

ところが、NPO法人グリーンウッド自然体験教育センターがこの村に根を張り、都会の子を集めて、山村留学を始め、山村教育が地域活性化に大きな影響を与えている。いじめ、仲間外れ、不登校などなど、子供を取り巻く環境が困難な状況。このような中、このNPO法人は、自然や仲間と暮らす教育をど真ん中に置き、「自ら生み出す心」、「楽しむ心」、「感じる心」を育みます。そして、この山村教育が評価され、夏休みには子供や、ボランティアなどの参加者によ人口が 2 倍になる。消滅危機自治体の再生をも、期待できる状況。

「思い通りにならないことを楽しむ」

自然、人間関係、暮らしは、自分の思い通りにならないことばかり。今日、何がしたい。お昼のご飯のメニューは何にする。自分たちで決めろと言われても、みんな思いがあり、一緒ではありません。時計をなくし、時間がゆっくり流れる環境をつくり、自然と向き合い、仲間と話し合い、信頼関係を築きあいながら物事を進めて行く大切さを肌で感じる山村留学やキャンプを学びました。

記録写真



長野県長野市役所
議場



NPO法人グリーンウッド
自然体験教育センター



NPO法人グリーンウッド
自然体験教育センター

活動結果報告書

令和8年 3 月 25 日

越前市議会

議長 大久保 健一 殿

議員氏名 砂田 竜一

下記のとおり報告します。

日 程 令和7年 11月19日(水曜日)

活動先 能登半島（輪島市、志賀原発）

活動目的 ・能登半島地震の被災地及び志賀原発の視察を通じて、
地域防災計画の実効性向上

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

F-TOP21南越支部能登半島視察研修会への参加

（F-TOP21とは：連合福井 総合政策フォーラム21）

1）輪島市視察

・輪島朝市跡とワイプラザ輪島店

能登半島地震により、輪島朝市開催地にて火災が発生し、拠点が消滅してしまい、現在も復興はしていない。ワイプラザ社長のご厚意により、ワイプラザ輪島店の店舗内にて朝市を開催中。復興に向けて地元に残った有志で活動を展開していることを学んだ。

・黒島漁港

地震により、能登半島沿岸の一部が約4m隆起し、漁業が行えなくなった。現在は、漁港の整備を進め、一部で漁船を再開するまでに至ったが、復興までにはまだ時間がかかると感じた。

2) 志賀原発視察

・志賀原発敷地内にて施設概要説明や施設内の見学を実施。現在稼働はしていないが、国の稼働認可に向け、日頃の安全管理や原子力災害の対応を現地にて説明を受けた。

3) その他

今回、バスでの視察により道路走行にて現地に向かったが、能登半島内の交通インフラは復興に向け現在も整備中であり、長い区間において多くの建設業者が整備を行っている風景を見た。現地の方にお伺いするには、地震による倒壊などで、建築業者の方の宿泊施設が足りない状況にあり、簡易宿泊施設を設置し対応している状況にある。国も復興支援を行っているようだが、復興にはまだ時間がかかると感じた。また、輪島市は地震後に地価が上昇しているようで復興の妨げの要因の一つになっている。

地域防災計画推進に向けた視察研修旅行について

■ 実施概要

- ・ 日程：令和7年11月19日（水）日帰り
- ・ 目的：能登半島地震の被災地および志賀原子力発電所の視察を通じて、地域防災計画の実効性向上と原子力災害対応への理解を深める。
- ・ 主催：F-TOP21 南越支部
- ・ 参加者：F-TOP21 議員会員、産別・単組役員および加盟組合員（別紙参照）
- ・ 移動手段：大型バス（1台）

■ 行程表（時間配分付き）

時間	内容	場所・備考
6:20	出発	越前市アイシンスポーツアリーナ駐車場
6:40	乗車（経由）	鯖江市 鸛陽会館駐車場
7:00～10:20	移動	北陸自動車道経由で輪島市へ（休憩2回含む）
10:20～10:50	視察①：輪島朝市跡	地震被害の状況確認
11:50～11:00	移動	黒島漁港へ
11:00～11:40	視察②：ワイブラザ輪島店	朝市代替施設の見学
11:40～12:15	移動	黒島漁港へ
12:15～12:30	視察③：黒島漁港	漁港施設の被災状況確認
12:30～12:50	移動	志賀町富来地区へ
12:50～13:30	昼食・休憩	志賀町富来地区（地元食堂にて）
13:30～13:50	移動	志賀原子力発電所へ
14:00～17:00	視察④：志賀原子力発電所	施設概要説明・見学・質疑応答
17:00～20:00	帰路	鯖江市経由で越前市へ（休憩1回含む）
20:00	到着（経由）	鯖江市 鸛陽会館駐車場
20:20	到着・解散	越前市アイシンスポーツアリーナ駐車場

■ 視察内容詳細

①輪島市内視察（10:20～12:30）

- ・ 輪島朝市跡：地震による被災状況と復旧の取り組みを確認
- ・ ワイブラザ輪島店：朝市の代替機能としての役割と地域再生の工夫
- ・ 黒島漁港：漁業施設の被災状況と復旧計画の現地確認

②志賀原子力発電所（14:00～17:00）

- ・ 施設概要説明
- ・ 防災対策・安全管理体制の紹介
- ・ 施設内見学（制限区域除く）
- ・ 質疑応答・意見交換

■ 注意事項

- 服装：歩行や屋外視察があるため、動きやすい服装・靴でご参加ください。
- 持ち物：身分証明書（発電所見学時に必要）、筆記用具、雨具（天候に応じて）
- 昼食：富来地区の地元食堂にて提供（アレルギー等がある方は事前にご連絡ください）
- 安全管理：主催者が旅行傷害保険に加入予定。体調不良時は速やかにスタッフへ申し出てください。

■ 旅行会社

福井鉄道株式会社

〒915-0802 福井県越前市北府 2 丁目 5 番 20 号

TEL：0778-21-0701 FAX：0778-21-0717

■ 事務局

連合福井丹南地域協議会 〒915-0814 福井県越前市中央 2 丁目 5 番 36 号

TEL：0778-22-4505 FAX：0778-22-4624 事務局長

追申：参加費（10,000 円/名）の徴収については、当日までに丹南地協の口座に振り込んでいただくか、事務所までご持参ください。なお、当日までにご入金が困難な場合は当日現金にてお支払い願います。

以上

活動結果報告書

令和8年3月31日

越前市議会

議長 大久保 健一 殿

議員氏名 砂田 竜一

下記のとおり報告します。

日 程 令和7年4月1日（火曜日）～令和8年3月31日（火曜日）

活動先 インターネット上

活動目的 議員活動の広報

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要（不足のときは、補助用紙を用いる。）

すなだ竜一の市議会活動のホームページを作成し、広報・広聴につとめた。

あわせて、本市の魅力・地域の魅力等の情報を発信した。

アドレス

<https://sunaryu.jp/>

市民目線で 市民と共に

越前市議会議員
すなだ 竜一
りゅういち

誠心誠意



幸せ実感のふるさと「越前市」のために
一緒に未来の種を撒きましょう！

少子化・人口減少をストップ！

- ・「子育て環境日本一」を目指します
- ・「教育環境日本一」を目指します
- ・「移住・定住の促進」を進めます



もっと魅力あふれる「まち」へ！

- ・「元気で活力ある地域産業」を目指します
- ・「地域資源の保存と活用」を進めます
- ・「持続可能な農業の活性化」を進めます



幸せを実感できるふるさとのために！

- ・「健全な財政の確保」を目指します
- ・「地域防災力の強化」を進めます
- ・「誰も取り残さない福祉」を目指します



越前市のより良い未来一緒に考えます！



プロフィール

活動報告

SNS

越前市議会

市議会助成事業

ホーム



【ご意見・ご相談・お問い合わせ】
こちらをタップ

砂田竜一後援会

すなだりゅういち こうえんかい

連絡先: 090-2377-3396
sunaryu2000@gmail.com



活動結果報告書

令和8年3月31日

越前市議会

議長 大久保 健一 殿

議員氏名 砂田 竜一

下記のとおり報告します。

日 程 令和8年3月29日(日曜日)～令和 年 月 日 ()

活動先 新聞折込 他
活動目的 議会の活動内容を市民の方へ報告するため

研修・調査・その他活動事項及びその結果概要 (不足のときは、補助用紙を用いる。)

すなだ竜一 市議会だより 2026年春号
印刷業者 三好印刷
支払金額 586,850円 (うち559,339円を充当)
配布先 市内各所 (新聞折込 他)
配布枚数 25,000部
たより内容 別紙のとおり

すなだ竜一

市議会だより 2026年 春号



TEL.090-2377-3396 E-mail:sunaryu2000@gmail.com

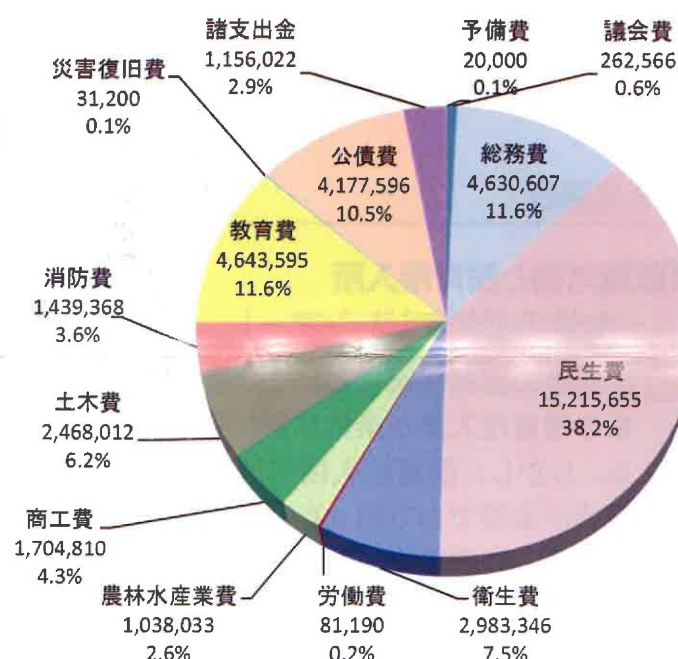


越前市 市政・議会トピックス

平林新市長誕生！ 新年度予算は「骨格的」予算編成

令和8年度当初予算案は、今年2月に市長選挙が実施されたことから、例年の通年型の予算編成ではなく、昨年度からの継続的な事業や既に実施が決定している事業を中心に、市民生活の維持にあたり緊急性・必要性の高い事業や、国制度改正への対応など一定の政策性はあるものの年度当初からの執行が必要となる事業等もあわせて計上し、市政及び市民生活への影響を最小限に抑え、切れ目ない行政運営を行うため「骨格的予算」を編成しています。「骨格的予算」の主要施策は、国の財源や交付税措置のある有利な起債などを効果的に活用するため、国の「経済財政運営と改革の基本方針2025（骨太の方針）」を踏まえ、①安全・安心、災害に強いまちづくりを推進する取組み、②こども・子育て世帯への支援、③市民活躍を支える取組み、④DX等の推進を柱としています。

令和8年度 当初予算案はこちらから（ダウンロードへ）



2025年度 越前市議会の取り組み

委員会のネット配信

現在、常任委員会のネット配信について検討しています。これまでは、傍聴でしか見ることはできなかった常任委員会での協議をネット配信で見ることが出来るように進めています。3月議会にて施行し、6月議会での配信を目指しています。



議員の服装自由化

市議会における服装自由化を進めています。地球温暖化対策としてのエコスタイル実施と共に、市職員が既に服装の自

由化を実施しているように、議会の自由闊達な議論風土を醸成することとも確認しました。議員としての品位を保つための注意点を整理すると共に、議員間協議での議論を深め、実施方法や実施時期の検討を進めています。



政策研究活動

議員の政策提案につながるような政策研究活動について、先進事例の取り組みを参考に、調査を進めてきました。議員政策研究会制度の創設を視野に、制度設計を含め所要の調整を図っていくことの合意が得られました。今後、議員間協議により議論を深め、実施に向け検討を進めていきます。

すなだ竜一 議会一般質問

◆12月議会【会派代表質問】

12月議会では、会派「市民ネットワーク」の会長として代表質問を行いました。市長の政治姿勢や少子化対策、駅周辺開発、教育や農業政策など、幅広く8項目の質問を行い、様々な市民サービス向上を要望しました。



越前たけふ駅周辺の開発ビジョン

Q 今後の開発ビジョンは。

A 福井村田製作所に続く高度な技術拠点の誘致、「アート＆クラフトミュージアム」整備の働きかけ、食と農の人材育成拠点の整備、温浴・飲食施設の立地など、今後10年を見据え、企業の研究開発拠点や人材育成拠点を集積し、多彩で創造的なエリアとして発展させたい。

市民の幸せ実感のふるさとづくり

Q 山田市長の今後の抱負は。

A 越前たけふ駅周辺の創造拠点化、歴史と文化の推進、子育て・教育日本一、脱炭素・オーガニックシティ、行財政システム改革など、「生まれてよかった、住んでよかった、帰ってきてよかった」と思えるまちを市民の皆さんと共に築いていきたい。

その他の質問

- 子育て支援の充実による少子化対策
- 公共施設の老朽化と持続可能な管理運営
- 公共交通網の再構築
- 地域ブランドの推進による地域活性化
- 持続可能な農業政策
- インクルーシブ教育の推進

◆3月議会

「就職活動と保育所入所 ～女性の就労とジレンマ～」

問 出産後の就職活動において、子どもの保育所入所が条件に挙げられる。しかし、保育所入所には就労証明が必要であり困っている市民がいる。この場合、どのようにすればよいのか？

答 一時預かり事業の利用や、可能であれば、市外の園への入園を検討いただくことも案内している。なお、入園保留となった場合でも、随時入園の再調整を行うため、家族の状況が変わった際には市にご連絡をいただくよう依頼している。

問 一時預かりサービスを行っている事業所の説明を

答 「一時預かり事業」は市内全ての園、合計25園及び民間幼稚園1園にて、可能な範囲で、半日、1日単位で預か

りを実施。「すみずみ子育てサポート事業」については、本市民が利用可能な事業所が、市内に3箇所、鯖江市に2箇所あり、1時間単位で預けることが可能。

「子どもの医療体制の強化 ～夜間・休日小児医療の確保～」

問 子どもが夜間や休日に急病になった場合、受け入れできる小児医療が丹南地区に存在しない。新たな小児医療拠点の整備や、オンライン遠隔健康医療相談サービスの導入など、子ども医療体制を強化する新しい子育て支援策を要望するが、本市の考えは？

答 新たな拠点整備には、小児科医の確保や財源、県の医療計画上の位置づけといった課題がある。オンラインでの遠隔健康医療相談サービスの導入については、他自治体の事例も踏まえ、今後の子育て政策の一つとして研究する。市民が迷わず適正な救急相談・受診ができるよう周知に努めるとともに、引き続き県に対し、丹南地域の小児医療体制を含む地域保健医療施策の充実を要望していく。

「その他の質問」

- ・企業・商業施設誘致における土地確保の重要性

2025年 主な経歴 「砂田 竜一」

- ・越前市議会議員(2期目)
(2026年3月現在)
- ・会派「市民ネットワーク」会長
- ・F-TOP21
(福井総合政策フォーラム21)議員団
- ・武生東高等学校PTA会長
- ・越前市子ども会育成
連絡協議会 理事
- ・武生西地区体協理事

昭和51年9月生まれ
(満49歳)

ご意見・ご質問は
こちらから

